

災害が起こる前に
知っておきたいこと
があります。

足立区都市復興シミュレーション
第2回を実施しました

〈対象地区〉



【出典：国土地理院ウェブサイト】

災害時のために
備えていますか？

被災後に受けられる支援や、建物の危険
情報など、役立つ情報をまとめました。

詳しくは裏面へ

5回の
ワークショップで
このまちの都市復興
を考えます

途中からの
参加大歓迎！

都市復興シミュレーション全5回の実施を通じて地域としての復興目標・復興方針を作成します。

第1回 (8/26[土])	第2回 (9/24[日])	第3回 (10/14[土])	第4回 (1/20[土])	第5回 (2/17[土])	復興目標・復興方針の作成
<p>事前復興と地域協働の重要性を学ぶ</p> <p>【講義】 都市復興について事前に取り組む意義</p>	<p>地域の災害リスクと復興のプロセス</p> <p>地域の災害リスクを学び、ワークショップ形式で住まいの復興を考える</p>	<p>“仮想まちあるき”を通じた地域の再確認、まちの将来像を考える</p> <p>区職員も参加し、地図を見ながら地域の資源や課題（危険箇所）を共有</p>	<p>復興目標・復興方針・復興計画について考える</p> <p>区職員が作成した復興目標（案）、方針（案）、計画（案）について区職員と意見交換</p>	<p>復興方針をまとめる</p> <p>区職員と意見交換を行い、復興目標・復興方針をとりまとめ</p>	

地震と水害で命の守り方は違います

「命を守る」ことが復興への第一歩！！

地震の時はまず一時集合場所へ

- ①自分の避難先を確認しよう。
- ②自宅の建物倒壊危険性を確認しよう。
- ③水や食料、簡易トイレなど最低3日分×家族の人数分をできれば1週間分備えよう。

詳しくは



水害時は自宅？知人の家？避難所？

- ①自宅の浸水深・浸水時間を確認しよう。
- ②自分の避難先を決めておこう。
- ③水が引くまで生活できる水と食料を備蓄しておこう。

詳しくは



災害の前にできることがあります

東京都立大学 中林一樹 名誉教授より解説



地震保険が復興の要になります

地震により建物が全壊した場合

新築費用：2,500万円

公的支援・義援金：400万円

地震保険に加入していれば

不足する2,100万円のうち、更に補償が受けられます

注意 火災保険では、地震を原因とする損害では補償されません

※東日本大震災の一例です。

覚えておこう 赤・黄・緑の貼紙

応急危険度判定とは

被災した建物の、その後の余震等による倒壊や部材の落下等の危険度を判定します。

判定結果は住民や歩行者等にも見えるように赤・黄・緑のステッカーで表示します。

「人命に関わる二次災害を防止する」ことを目的としています。



り災証明書が支援に必要です

り災証明書とは

被災者が税金などの減免申請や、見舞金や支援物資の支給、被災者再建金の給付などの支援を受けるために必要な証明書です。

証明書を申請するために

片づける前に写真を撮って被災状況を記録しましょう

<り災証明発行手続先>

地震・水害 ⇒ 千住区民事務所

火災 ⇒ 千住消防署

災害が起こる前に登録しよう



足立区防災アプリ



【iPhone端末】



【Android端末】

足立区LINE公式アカウント



A-メール



途中参加について

途中参加も大歓迎です。お気軽にお問合せください。

お問い合わせ

足立区都市建設部都市建設課 上野・渡邊

TEL 03-3880-5280

メール tosikeikaku@city.adachi.tokyo.jp